



がっこうとしょかんしえんいん かねこ ともこ 学校図書館支援員の金子です。今年度も、月曜日と木曜日を中心に図書室にきています。

ほん としよしつ 本のこと、図書室について聞きたいことなど、気軽に声をかけてくださいね。



ほん どくしよ ほん 本・読書についての本 ... 図書室に特集コーナーもあります。ぜひ見てみてください。

『しずかに!ここはどうぶつのとしよかんです』  
 ドン・フリーマン/ぶん・え なががわちひろ/やく  
 ビーエスしゅつぱん BL出版 E/フ

としよかんで、どうぶつの本をよんでいたカーリーナは、「どうぶつたちも、本をよみたいかもしれないな」とかんがえます。すると、カナリヤ、ライオン、くまにぞう、どうぶつがつぎつぎにやってきます。カーリーナは、いっしょうけんめいあんないしますが…。

低学年向け

『きょうりゆうが図書館にやってきた』  
 アン・フォーサイズ/さく 熊谷鉦司/やく  
 きん ほししや 金の星社 93/ふ

たのしいどくしよ週間。まちのとしよかんのおはなし会にあらわれたのは、トムが、まえに、にがしてあげた小さなきょうりゆう。しかも、本をムシャムシャと食べはじめてしまい、さあたいへん。そんなとき、トムが大きな声で、「いい考えがあるぞ!」。



『3・4年生 つぎ、なにをよむ?』  
 あきやまともえ へん 秋山朋恵/編  
 かいせいしや 偕成社 01/つ

「何かおもしろい本ない?」たくさんの本の中から読みたい本を見つけるのは、ちょっと大変。この本では、チャートの質問に答えながら、読んでみたい分野(とびら)や、次に読むのにおすすめの本が探せます。1・2年生と5・6年生向けもあります。

『雨ふる本屋』  
 ひなたりえ こ さく 日向理恵子/作  
 どうしんしや 童心社 913/ひ

あまやど た よ 雨宿りに立ち寄った図書館で、ルウ子はカタツムリに導かれて「雨ふる本屋」にたどり着きます。そこは、書きかけのまま忘れられた物語を、雨を使って完成させる、という古本屋。ルウ子は、「ほっぼり森」へ、物語の種について調べる旅に出ます。

『わたしのとくべつな場所』  
 パトリシア・マキサク/文  
 ジェリー・ピンクニー/絵 藤原宏之/訳  
 しんにほんしゅつぱんしや 新日本出版社 E/マ

肌の色が違うというだけで、差別された1950年代のアメリカ南部。黒人の少女パトリシアは、「とくべつな場所」をめざして出かけます。行く途中でさまざまな差別を感じながらも、たどりついた場所は。

高学年向け

『坂の上の図書館』  
 いけだ さく 池田ゆみる/作  
 しよぼう さ・え・ら書房 913/い

小学5年生の春菜が暮らすことになったのは、住む家のない母親と子どもが入る、自立支援センター「あけぼの住宅」。その隣には市民図書館がありました。新しい友人や先生たち、そして本との出会いが、春菜を少しずつ変えていきます。

